

所属学校名	愛知教育大学附属岡崎小学校		
P T A名称	父母教師会・本気の会 (お父さんの会)	会長名	山口康二
事例名称	お隣の市立小学校の児童・保護者の方々と一緒に 楽しみながら防犯について学ぶ交流事業「『逃走中』in 附属岡崎小学校」		

(活動内容)

学区のない附属学校において、子どもたちが安全・安心に学校へ通える環境づくりを考える上で、附属学校の存在する地域住民の方々との連携はとても重要なものであると考えます。近隣住民の方たちが「附属学校」＝「自分たちとは関係のないところ」となってしまうまいように、附属学校に足を運んでいただく機会をつくり、附属学校に興味を持っていただくと共に、附属の子どもたちの存在もしっかりと認識していただくための努力が必要であると考えます。そこで、附属岡崎小学校のお父さんでつくる本気の会の企画として、子どもたちと一緒に防犯について楽しみながら学ぶ附小版「逃走中」を開催するにあたり、附属岡崎小学校からすぐ近くにある岡崎市立愛宕小学校の子どもたち・保護者の方たちにも参加を呼びかけたところ、附属小の子ども＝86名／保護者＝65名、愛宕小の子ども＝22名／保護者＝11名に参加いただくことができました（平成29年3月4日／土曜日に開催）。

テレビ番組でお馴染みの「逃走中」ですが、“附小版”は単なる遊びとして企画するのではなく「防犯を体験すること」を目的に、子どもたちにはランドセルを背負いながら走ってもらい、大声を出したり防犯ブザーを鳴らしたりすると捕まらない、といったルールのもとで行ないました。附属小・愛宕小のお父さんにハンター役をやっていただき、子どもたちを追いかけていくのですが、子どもたちには大声を出して逃げる、防犯ブザーを鳴らして逃げる、といった経験をしてもらい、楽しみながら防犯体験をしていただくことができました。今回の経験が、いざという時の行動に活かされてほしいと思います。また、参加いただいた愛宕小PTA会長様からも今回の事業に対する好評価をいただきと共に、学区の子ども会活動への参加の呼びかけをいただくこともでき、両校の子どもたちの笑顔のために、互いに助け合い・支え合える関係を構築できるきっかけにもなったのではないかと思います。今後も継続して交流していければと考えています。



準備から設営までお父さんが大活躍（自ら馬の面を持ってきてくれたお父さんも）！今回の「逃走中」は子どもたちにペアを組んでもらい、どちらかの赤白帽子が取られたら捕まるというルール。途中、防犯ブザーを鳴らしたら捕まらないブザータイム、とにかく逃げないと捕まってしまうハンタータイム等を設けながら、ハンターの目をかいくぐって子ども110番ゾーンに入ると、入った人数分だけ捕まった子が牢屋ゾーンから解放されていきます。結果全員解放されることができ、子どもたちがハンターに勝利しました！